

Uボート攻勢戦闘チャート

[U1] Uボート魚雷／甲板砲射撃チャート 2d6を振る

近距離 サイの目	命中	中距離 サイの目	命中	長距離 サイの目	命中
0～8	命中	0～7	命中	0～6	命中
9+	はずれ	8+	はずれ	7+	はずれ

サイの目修正

-1	夜間又は非護衛下浮上魚雷
-1	艦長(KMDT)がプール・ル・メリット佩用者
+1	新米乗組員
+1	全ての一般乗組員がSW又はKIA
+1	艦長(KMTD)がSW
+1	2回目の魚雷斉射*
+1	中距離でのC/06魚雷
+2	艦長(KMTD)と前任将校(1WO)がSW

射撃した各魚雷と／又は甲板砲について一度振る(浮上攻撃については、サイを振る前に小型貨物船のQシップ状態のチェックを忘れないこと)。

注釈:

C35/91魚雷は、近射程でのみ使用できる。

C/06魚雷は、長射程で使用できない。

G/6魚雷は、全ての射程で使用できる。

*2回目の斉射は、夜間浮上攻撃としてのみ可能。もしも艦長(KMDT)がハンザ十字章(HK)佩用者であると、修正を無視する。

命中結果: 魚雷は、不発の可能性についてチェックしなければならない [U2]。

[U2] 魚雷不発チャート 1d6を振る

時期	サイの目 C35/91	サイの目 C/06	サイの目 G6
1914年	1-3	1-2	1-2
1915-18年	1-2	1-2	1-2

注釈:

「命中」した各魚雷について一度振る。

もしも良好魚雷を持つと、+1修正を適用 [R1]

結果の説明

は、魚雷不発のサイの目結果を示す。不発は、何ら影響を持たず、目標艦船に損傷をもたらさない。

表U3の注釈:

修正前の初期甲板砲の6の結果は、商船の船長が逃走を試みていることをシミュレートしていると考え。修正前の1-5の結果は「停止、避難、自沈」結果をシミュレートする。何人かの商船船長は、10.5cm砲に直面しても逃走を試み、それは1915年にFredreck Parslow船長がU-39からの逃走を試みたときのごとく、しばしば生命を賭けた。Parslowは、7,000トンのアングロ・カリフォルニア(ゲーム内に含む)で助けが到着するまで敵の砲火に耐えて船を守り、それは修正前に6が振られ、追加戦闘ラウンドに護衛艦が現れるまで船が生き残っていることを意味する。

[U3] 攻撃損傷チャート 1d6を振る

サイの目	魚 雷	甲板砲
0以下	—	2損傷
1	4損傷	2損傷
2	3損傷	1損傷
3	2損傷	1損傷
4-6	1損傷	1損傷
7以上	—	0損傷

サイの目修正

-2	U巡洋型甲板砲
-1	10.5cm甲板砲
+3	3.7cm甲板砲

命中した各魚雷又は甲板砲について一度サイを振り、適切なコラムを使用する。

結果の説明:

#損傷は、下表に従って目標を沈没させるために必要な損傷ポイントを適用する。

沈没させるポイント	艦船タイプ
5損傷	主要艦
4損傷	10,000+トン
3損傷	5,000～9,999トン
2損傷	4,999トン以下

損傷状態の艦船は、自動的に追尾され得る。